

1 事業概要

2 事業内容			
3年度 取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・文化財審議委員会を2回開催し、菱田春草筆「雨中美人」(未完成)を市有形文化財に指定しました。 ・重要無形文化財「遠山の霜月祭」の後継者育成事業、県史跡「座光寺の石川除」の石積み補修事業、市無形文化財「大名行列」の保存継承事業に対して、地域団体、保存団体に補助金交付するとともに、活動を支援しました。 ・小笠原資料館、北田遺跡公園は指定管理とし、他の文化財は適宜必要な修繕等を行い維持管理しました。 ・考古博物館の在り方を検討し、「考古博物館活用基本方針」を策定し、施設名を「飯田市考古博物館」に改称(令和4年4月)しました。	文化財資産化事業経費	173
		名勝天龍峡活用事業経費	13
		所有者等が行う保護事業への補助金	1,352
		文化財保護事業補助金(霜月祭後継者育成)	560
		指定文化財・文化財関連施設等管理運営経費	8,401
		旧小笠原家書院・小笠原資料館指定管理料(三穂まちづくり委員会)	2,416
		北田遺跡公園指定管理料(上久堅地区まちづくり委員会)	380
		上郷考古博物館管理運営経費	8,359
		会計年度任用職員	1,936
その他の経費	0		

[illegible]

3 事務事業を構成する予算科目

振返り課題認識	・コロナ禍の長期化で、文化財等を活用した取組が難しい状況が続いています。 ・策定した「考古博物館活用基本方針」に基づく活用を進める必要があります。 ・飯田の地域資源について、更なる価値の顕在化と周知の取組が必要です。
上記の課題解決のための有効策	・人数制限や十分な新型コロナウイルス感染症対策を施し、文化財等の公開活用に取り組みます。 ・「史跡飯田古墳群」のガイダンス施設として展示品、資料の充実、考古博物館の周知に取り組みます。 ・飯田の地域資源の価値の顕在化に向け、引き続き調査等を関連部署と連携して取り組みます。
次年度に向けての取り組み	・地域や保存団体と協働し、感染症対策に留意した文化財等の見学会や学習会の実施、情報発信を促進します。 ・考古博物館所蔵図書の活用に向けた「考古資料センター」設置、展示計画の検討、短甲など展示品の準備を進めます。 ・関連部署や文化財審議委員と連携し地域資源の調査を進め、特に価値のある資産を文化財指定して保存継承を図ります。